

Vol.37

進化系
ポウ展

2020年10月23日(金)、24日(土)、25日(日)

10:00~20:00 (最終日は14:00)

兵庫県立美術館ギャラリー棟 3F

入場無料

— ポウとは自由奔放という意味です —

ポウ展は 1996 年に発足しました。自由奔放という意味から名付けたポウ展。メンバーはそれぞれの道を模索し歩み .. そして数年に一度集まり .. 天井高 7.2m の大きな会場で思いっきり自由に羽ばたきます。今年はその準備の段階で思いもよらぬコロナ渦に巻き込まれてしまいました。存続か中止かの選択肢の中、意欲に燃えたメンバーたちは展覧会開催を選択いたしました。情熱を持って挑んだ作品たちを是非ともご高覧下さいませ。

ポウ展主宰： 柝原敏子

① 竹本 健人 Kento Takemoto



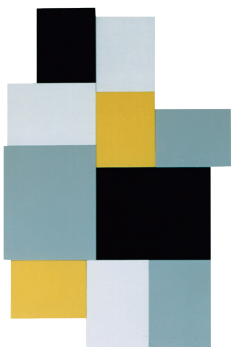
皆さんは指が辛子明太子だったらどうしますか？僕は取り敢えず恐る恐る嘗めてみます。多分塩っぱくて辛いと思います。噛んだりはないと思います。痛そうだから...。僕の作品で僕が気持ち動けは幸いです。

② 里井 純子 Junko Sato



私は描く前にテーマ・タイトルを決めず塗りたい色を重ね、削っては塗りを繰り返します。あー美しいと何か浮かび上がるまで、苦しい反面楽しい作業です。抽象の大きな画面は初めてでチャレンジです。どこまで迫れるかが課題です。

③ 伊藤 みえこ Mieko Itoh



黒と白を基調とした無彩色のお気に入りの世界に、愉しそうな黄色を配置してみました。今回は透明の彩色したアクリル板を載せてみると、すっきりシンプルな味わいになりました。

④ 児玉 瑛子 Eiko Kodama



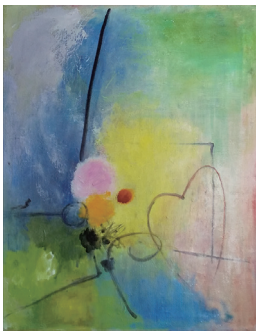
私は廃工場や古い建物、廃墟に心惹かれスケッチによく行っています。ノスタルジーという言葉だけでは語れない、時を経たものの美しさ、はかなさ、可愛さを表現できればと試行錯誤して制作しています。

⑤ 金田 尚子 Hisako Kaneda



時間は常に進んで過ぎていきますが、記憶はその感情とともに時を遡ります。自分の中にある光景やイメージを、そのまま可視化できたら、そこにはどんな思いを反映できるのだろう。また進むしかないのかもしれない。

⑥ 中山 トモ子 Tomoko Nakayama



最近の自然界の厳しさに恐怖すら感じる日々、風の匂いに誘われ、草花の美しさに心奪われた日、誰もが災害のない自然を築きあげようとして描いています。

⑦ コウノ 真理 Mari Kono



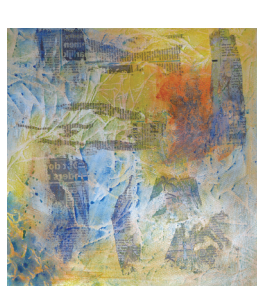
閉ざされた空間に引きこもる時、解き放たれた気持ちが増します。まるでビンの中に置き去りになったように、そこでひと時の夢を見る。昨日とは少し違う世界を新しい日常を求めて。心は秋風にさそわれる。

⑧ 岡井 光代 Mitsuyo Okai



赤が好き。手元に集まって来た古布の赤喜びも哀しみも怒りも赤い布は秘めている気がする。重なり合う赤の物語を折り込んで織り込んでみた。素直な赤に染まりたくて。

⑨ 山口よしこ Yoshiko Yamaguchi



「今、世界は」何が起きている。これからどうなる。何をすべきか。哲学的な呪文が私の心をめぐっている。この世の大切なものを目を向け耳を傾け、自分のできることをやるしかない。自然からの啓示を大切に地道に制作すること。それが小さな小さな芸術の種になるのなら。

⑩ Pen² PenPen

愉快な踊りをしよう！自分のエネルギーを注ぎ込み共に一体化。この世は色んな葛藤もある。けれど私は楽しみに変換させて魅せてみる。終わりのない踊りに私は永遠に楽しみながら挑み続けよう。

⑪ 貝塚 理佐 Risa Kaizuka



自然や時を経ても変わらない心情を詠った美しい万葉の古詩から時にインスピレーションを得ながら、自然への思いや日々の景色の中に映りこむ思い出や大切な人の想いを表現したいと思っています。

⑫ 榊原 メグミ Megumi Sakakibara



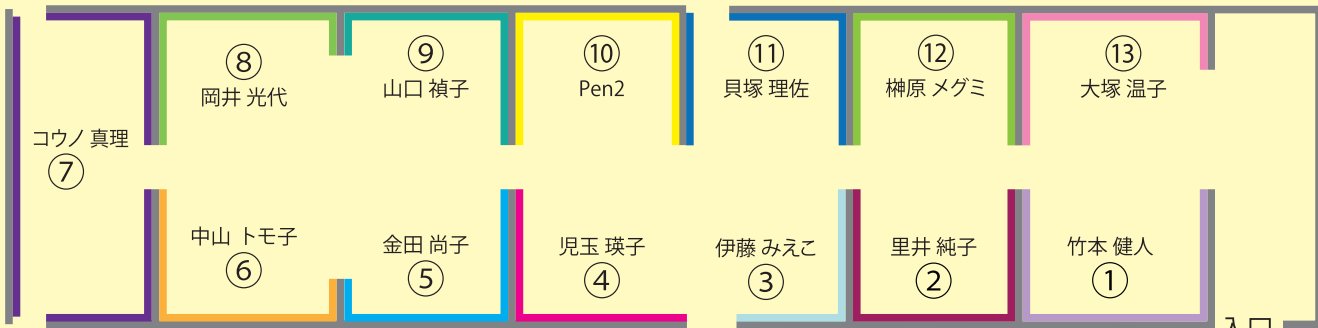
作品を描くことは、ほんやりとした感覚を頼りに、気配を探る旅に出るようなもの。遠くに浮かぶ景色を丁寧に繊細にたぐりよせて色にのせてゆく。それは、私の心の私をとりまくもっと大きなものの粒子、記憶の再現。

⑬ 大塚 温子 Atsuko Otsuka



命あるもの、ないもの、言葉にならない何かをつねに発信しているように思います。だれかに向かって。どこかに向かって。

3F ギャラリー室 ブース一覧



● 会期中、Pen2によるアートパフォーマンスあり！



24日(土)

● アーティスト紹介 13:00~
ギャラリー室にて

* 詳しい内容は wed ページで。

* 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

ご来館の際は、受付にてアルコール消毒、熱のチェック、ご連絡先の記入をお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 HAT 神戸内 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

アクセス 阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分、JR神戸線灘駅(南)から徒歩約10分、阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分、JR三ノ宮駅から阪神バス、神戸市営バス29、101系統で「県立美術館前」下車すぐ